

令和4年3月24日 修了式 校長講話

校長先生から、令和3年度の修了式のお話をします。いつもそう思いながら話をしていますが、低学年のみなさんには少し難しい話になってしまいます。ですが、校長先生がみなさん伝えたいと思う話なので、どういう意味かなと考えながら一生懸命きいてください。

1学期・2学期は「終業式」といいますが、3学期のさいごは「修了式」といいます。修了というのは、それぞれの学年の勉強をやり終えたという意味で、小学校の勉強をすべてやり終えたという意味の「卒業式」ほどではありませんが、今日は、1つの区切りでおめでたい日です。

その1つの区切りの日にあらためて振り返ってみると、今年度1年間もまた、新型コロナウイルスで大変だったなと思います。もう丸々2年間です。さすがにもううんざりです。1学期はじめにも、2学期はじめにも、3学期はじめにも大きな流行がありました。その度に、児童のみなさんや先生のお休みが増え、予定していた行事の中止や変更をしないといけなくなり、ふだんの授業でもできない活動が増えました。青信号だったのは1年のうち2か月くらいです。ふうと大きなため息をもらしてしまいます。

そんな毎日の中、1年間がんばったみなさん。

学期の終わりごとに校長先生は同じ言葉ばかり話し続けているように思いますが、今回もまた、同じ言葉しか伝えたい言葉が思い浮かびません。

「みんなほんとうによくがんばった。」

みなさんに伝えたいのは「労い（ねぎらい）」の気持ちです。いろいろと大変なこともあったけど、それにくじけず、よく頑張ってくれてありがとう。そういう気持ちです。昨日どの学年もそれぞれ楽しい活動をしていて校内に明るい声と笑顔があふれていきました。1年の最後が笑顔でよかったです、とてもホッとしました。もう一度言いますね。「みんなほんとうによくがんばった。がんばってくれてありがとう。」

つづいて卒業式で6年生に伝えたことを、少し言葉をやさしくして、在校生のみなさんにも伝えておきたいと思います。

日本でも世界でも、たいへんなできごとがたくさんおきています。コロナも嫌ですが、戦争も嫌です。こわい事件や事故の話も嫌です。気持ちが重くなります。そんな世の中だからこそ、みなさんは、「大切に思い大事にする気持ち」や「ありがとうという気持ち」をいつも忘れずにいてほしいです。これは「愛」と「感謝」と言います。例えば、家族に。例えば、今、目の前にいる担任の先生に。

誰かに「大切に思い大事にする気持ち」つまり「愛」や「ありがとうという気持ち」つまり「感謝」を伝えることができたら、きっと、その誰かもみなさんにも同じ気持ちをたくさん返してくれることでしょう。そんな気持ちのやりとりは温かくて優しくて幸せです。

さあ、明日から春休み。今日は、1つの区切りでおめでたい日なので、美味しいものを食べさせてもらい、ゆっくりとお風呂につかってのんびりとして、ホッと一息つければいいなと思います。でも、いつまでもボウっとしていてはもったいないので、春休みの間に、4月からいいスタートがきれるように---できなかつたことがたくさんできるようになり、わからなかつたことがたくさんわかるようになるように---つまり、たくさん「成長」する1年になるように---しっかりと気持ちの準備をしておいてくださいね。

以上で、校長先生の修了式の話は終わります。

校長先生からもみなさんに、「大切に思い大事にする気持ち」と「ありがとうという気持ち」をたくさん伝えたいです。それでは、4月に「元気な笑顔」のみなさんと会えることを楽しみにしています。よい春休みをすごしてください。